



# C サポ通信 秋号

2020年11月

No.2



一般社団法人消費生活総合サポートセンター(C サポ) 会長 小野由美子

〒101-0065 東京都千代田区西神田 2-7-6-33 Tel&Fax 03-6268-9873 <https://www.c-support.or.jp/>



## 本部事務所を開設しました！

**【ご報告】2020年10月**  
消費生活総合サポートセンターは、  
本部事務所を開設しました！

ここを拠点に活動中

〒101-0065  
東京都千代田区  
西神田2-7-6 川合ビル

<Tel&Fax>  
03-6268-9873

<URL>  
<https://www.c-support.or.jp>

**Cサポ ご案内**

神田川

JR 水道橋駅

三崎町交差点

JR線 水道橋駅 徒歩5分  
地下鉄半蔵門線・都営新宿線・都営三田線 神保町駅 徒歩6分

## C サポ臨時社員総会が開催されました

2020年10月10日(土)

台風14号の接近と重なりましたが、2020年10月10日、Cサポの臨時社員総会が千代田区神田のアイデアホリック会議室にて開催され、提議された2つの議案はいずれも可決承認されました。

### 総会

#### 【決議事項】

第1号議案 定款の改定について

- 本部事務所を千代田区に開設することに伴い、(主たる事務所)の所在地を東京都千代田区に変更する。
- 社員総会、理事会の(決議の方法)に、Web会議システム等による参加および議決権行使が可能となる規程を追加する。

第2号議案 理事の選任について

- 窪田久美子氏、内藤恵美子氏を理事に選任する。

#### 【報告事項】

顧問の選任について

9月26日に開催した第4回理事会において、名阪信親氏を顧問に選任した旨を報告しました。

名阪信親氏の顧問選任に伴いCサポの顧問は江國泰介氏、佐藤雄一郎氏を含め3名体制となりました。

## 理事会

臨時社員総会に引き続き、第5回理事会が開催され、提議された2つの議案はいずれも可決承認されました。

### 【決議事項】

#### 第1号議案 新組織体制と業務分担

- 同日の臨時社員総会で選任された窪田久美子理事は広報委員長を、内藤恵美子理事は事業委員長をそれぞれ引き続き担当していく。

#### 第2号議案 規程の新設及び改定について

- 同日の臨時社員総会で承認された第1号議案に基づき、「総会運営規程」の新設、「理事会運営規程」の追加を行う。

## 定例ミーティング

臨時社員総会、第5回理事会に引き続き、当日は10月度の定例ミーティングも行いました。

広報委員会からはHPのアップデート状況、消費者教育委員会からはWeb教材の進捗および講師派遣の計画、福祉サービス第三者評価委員会からは評価時のアンケートの処理状況、事業委員会からは11/15の全国ネットワーク会議他各イベントの進捗状況、消費者志向経営委員会からは10/14の海老名高校出前講座の準備状況などの情報提供がありました。すでに完了したイベントについては良かった点と次回に向けての課題の共有、及びこれからのイベント、特に海老名高校でのオンラインの環境授業や全国ネットワーク会議の成功にむけた最終確認など活発な論議をしました。最後に新任の窪田理事、内藤理事、名阪顧問の決意表明、また、江國顧問、佐藤顧問からご挨拶を戴き、盛況の中閉会となりました。

なお、2020年10月16日の第6回理事会において、主たる事務所の移転先を下記とすることを決議しました。

事務所移転先：

東京都千代田区西神田2丁目7番6号



江國 泰介氏(Cサポ 顧問)の執筆図書をご寄贈いただきました。



Cサポ顧問の江國泰介氏が共同で執筆された2冊を含む5冊の図書をCサポへご寄贈いただきました。

ご寄贈いただいた本は、漫画が多く、字も大きくて読みやすくなっています。「障害者の方々の見守り」という視点だけでなく、相談業務や消費者教育に携わる人にとっても、とても参考になる図書です。

現在Cサポ本部事務所に置いてあります。近くにお越しの際は、お立ち寄りいただき、ご覧ください。貸し出しも行いますので、ご希望の方は、広報委員会までご連絡をお願いします。

Cサポ広報委員会アドレス： kouhou@c-support.or.jp

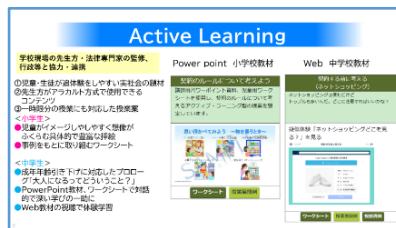
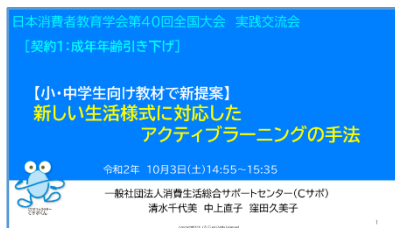
# 各委員会の活動紹介

## 日本消費者教育学会全国大会(10月3日)

消費者教育委員会 委員長 中上直子

10月3日(土)4日(日)の両日、日本消費者教育学会第40回全国大会が行われました。記念すべき大会は、コロナ禍の影響で、配信会場の金城学院大学と全国各地の発表者・参加者をつなぐ初のオンライン開催。消費生活総合サポートセンターは、東珠実会長による基調講演「消費者教育学会40年の歩みと展望—実践が切り拓く未来—」に続く実践交流会にて、「小・中学生向け教材で新提案 新しい生活様式に対応したアクティブラーニングの手法」を発表しました。

中学生向けネットショッピングは、消費者教育委員会で制作中のWeb教材の1コンテンツです。公開前のWeb教材をPPTにリンクさせ、デモンストレーションを交えて紹介したところ、54名が視聴。興味を持っていただくことができました。「実践が切り拓く未来」を信じて、その一端を担っていきたいと思います。

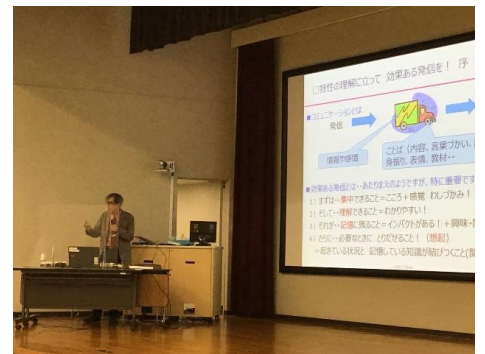


## 国民生活センター 講師養成講座 (10月6日)

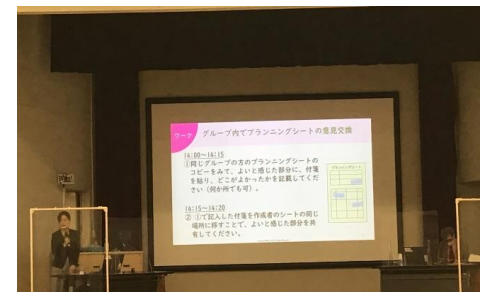
会長 小野 由美子

消費者教育に携わる講師養成講座[対象者別コース]で、特別支援学校等に通う知的障害(軽度)のある生徒を中心とした若年者への講座実施に向けた研修について、1泊2日のうちの2日目をCサポが担当しました。

午前には講義・実演で、顧問の江國泰介さんが「知的障害(軽度)のある生徒向け消費者教育講座のポイント」について講演と実演を披露しました。前半の講演は、江國さんのグループホーム・就労支援センター等の生活支援や支援学校等における授業・講座での豊富な経験を交えた充実の内容でした。後半は、江國さんのこれまでの講座をベースに「社会人になる春4月を迎えるために! だいじな おかねの じょうずな つかい方、まもり方」と題した当事者講座が解説付きで実演されました。



午後は、江國さんに加え、小野と窪田久美子さんとで個人ワークを担当しました。ワークの課題は「特別支援学校高等部の20人に50分授業を実施することを想定した講座案(プランニングシート)の作成」です。参加者は講師から助言を受けながら、会場に準備されたそれぞれのパソコンでプランニングシートを作成しました。コロナ禍のため、グループ内で話し合いはできませんでしたが、グループ内でプランニングシートを見せ合い、「いいね」と思ったところに理由を書いた付箋を付ける時間を設けたところ、受講者から「褒められた箇所が“見える化”された」と、喜ばれました。最後に、代表で発表してもらった4人に対する講評をして終了しました。



参加者からは「現場を踏まえての具体的な講座実演が参考になりました」「具体的な内容で、知的障害でなくても活用できる内容であった」「想像していたよりも難しいことを実感した。言葉ひとつについてもよりわかりやすく、イメージしやすいかどうかを考えながら資料づくりや話をする必要があることを学んだ」という声が寄せられました。個人的には、以前から「江國さんの講演を消費生活相談員の方にも研修という形で直接お届けできないのか」と考えていたので、今後の活動の広がりへの大きな足掛かりとなり、嬉しかったです。

神奈川県立海老名高校1年生10クラス（400人）を対象に、オンラインによる環境授業を実施しました。

テーマは「地球の未来を考えると、自分たちの未来が明るくなる！！」です。環境問題は、知識として知るだけでなく、解決への行動（マイエシカル）が不可欠です。そこで、「現場で活躍する講師から環境問題の現状と課題、エシカルへの取り組みを聞き、エシカル消費新聞にまとめることで自分事としてとらえる」ことを授業の目標としました。

**当日の学習内容**

- 1 時間目：専門の講師による講座
- 2 時間目：新聞作り／コメントタイム
- 3 時間目：新聞作り／コメントタイム

**【1時間目 3つの講座を開催（10クラスを3つに分けて受講）】**

- 食品ロス：株式会社日本フードエコロジーセンター 高橋社長、高原氏

「食品循環の企業の取組と、持続可能な社会を実現するための問題点と今後に向けて」

講座のほか、オンラインによる工場見学が行われました。海老名高校出身である高橋社長から、後輩に向けたエールの言葉もありました。

- プラスチックごみ：NPO 法人海の森・山の森事務局 理事長 豊田氏

「海洋プラスチックごみの現状を知り、生活の中のプラスチックを出さない工夫を考える」

写真家である豊田氏が撮影した海中プラスチックごみの映像とともに、講師自身が活動している湘南海岸や大岡川での清掃活動について、話していただきました。

- 衣料品リサイクル：ナカノ株式会社 藤田氏

「衣料リサイクルの現状と課題」

横浜工場で実践している衣料品リサイクルの様子を動画で視聴し、衣料品リサイクルの問題点や、循環型社会の形成に向けた会社の取り組みについて話していただきました。

**【2時間目、3時間目 エシカル消費新聞づくり】**

Cサポの講師の進行により、生徒は各自エシカル新聞を作成しました。事前に資料をGoogle クラウドにアップしておいた資料や、講師から提供された「写真」「新聞記事」など活用したりして、取り組みました。作成途中の新聞を周囲の4名と回し読みをし、「いいね」と思うところなどをコメント用紙に書くなどして、いいところを積極的に自分の新聞づくりに生かす工夫を凝らしました。

**【授業の前と後に2度行った宿題 SDGs サーベイ】**

日本エシカル推進協議会の協力により、生徒はこの授業の前と後の2回、SDGs サーベイに取り組んでいます。1回あたりエシカル消費への行動や、SDGsの理解度を定量的に測ることができるものです。その結果、授業前と比べて授業後は全ての項目で伸び、行動変容を確認できました。特に、「SDGs 行動力が伸びた」ことは、とても嬉しい結果です。環境学習の意義は、「行動につながる」ことにあると思っています。地元で頑張っている企業、団体の話を聞いたことや、新聞作りで情報を整理して発信できたことが、結果につながったと考えています。

今後、この分析結果とともに、海老名高校から提供される優秀作品展をHPで公開します。詳細を報告する予定ですので、ぜひご覧ください。

**SDGs サーベイの結果  
(1回目と2回目の比較)**



ebina全体		n数	構成比	SDGs想像力	SDGs情報力	SDGs学習力	SDGs行動力	SDGs達成力
1回目（授業前）	362	100%	27.4	6.6	21.3	-11.5	1.2	
2回目（授業後）	310	100%	41.5	26.4	41.3	13.5	22.5	
2回目と1回目の差			14.1	19.8	20.0	25.0	21.2	

2回目は全ての項目で伸びたが、特に行動力が25pt伸びた。

